

～和歌山城公園動物園 100年以上の歴史～



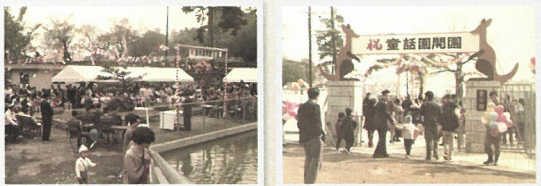
こうえんせいび  
公園整備と  
どうぶつえん  
動物園の誕生  
たんじょう

和歌山城公園動物園は、大正4年(1915)に、大正天皇の御大典記念事業として始まった和歌山公園改良計画の過程で誕生します。整備開始当時は、日本には、上野動物園、京都市動物園、天王寺動物園の3園しかなく、動物園という言葉もあまり馴染みがない時代でしたが、大正8年(1919)の秋の新聞で、初めて「動物園」という言葉が用いられ、紹介されました。

昭和16年(1941)から、家畜等の飼料の配給統合に伴う制限が係り、国内の動物園は運営に頭を悩ませるようになります。和歌山城公園動物園でも、鹿用の餌として販売していた粕せんべいに代わって動物園内で栽培した馬鈴薯を食べさせるなど、代用食や自給自足で飼料を賄っていました。しかし、大戦の影響はさらに大きくなり、戦時猛獣処分が各地で進むなか、和歌山市でも熊の行く末が検討され、商家に売り渡されました。その後、動物園は食糧難のため、戦後しばらくまで一時閉園されることになりました。

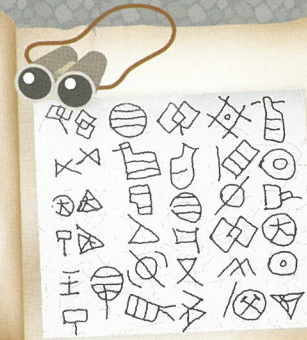
戦後、動物園は再開されますが、各地では復興が進み、近代的な動物園が続々開園され、公園をもう一度夢のオアシスとして大改造しようと計画が始まりました。

昭和42年(1967)から和歌山公園整備5ヶ年計画が策定され、動物園は、ほ乳類を中心に飼育する「**童話園**」と水鳥を中心に飼育する「**水禽園**」の2つに分かれ、昭和45年(1970)に開園を迎えます。昭和47年(1972)には熊用の園舎も新たに整備され、現在のような姿になりました。



せんじちゅう  
戦時中の動物園  
どうぶつえん

しょうわ  
昭和の大リニューアル  
だい



和歌山城石垣にある  
刻印を探してみよう!

刻印は全部で約2,000個確認されています。  
さあ、和歌山城内を探してみよう!

交通アクセスMAP JR和歌山駅、南海和歌山市駅からバスで「和歌山城前」下車



動物園サポーター募集中

和歌山城公園動物園では、広く皆様から寄附金を募り、動物園に対する愛着、理解を深めていただくとともに、市民、来園者の皆様と一体となって、動物園の活性化を図っています。ご寄附いただいた寄附金は、動物園施設の修繕費等の経費として活用しています。

- 団体サポーター**  
1口10,000円から  
1口以上寄附いただいた団体を1年間サポーター登録します。  
ネームプレートの園内掲示と天守閣優待入場券を1口につき1枚進呈します。
- 個人サポーター**  
1口300円から  
領収書が必要な方は、1口300円から受付いたします。  
領収書が不要な方は、1口の金額に関係なく、園内設置の募金箱をお願いします。

【お問合せ先】和歌山市 和歌山城整備企画課 TEL.073-435-1044



- 動物取扱業に関する表示
- 氏名又は名称: 株式会社 ワールドインテック ●事業所の名称: 和歌山城公園動物園
  - 事業所の所在地: 和歌山県和歌山市一番丁3番地 ●第一種動物取扱業の種別: 展示
  - 登録番号: 第190019号 ●登録年月日: 2020年10月13日 ●有効期間の末日: 2025年10月12日
  - 動物取扱責任者: 湯浅 真波

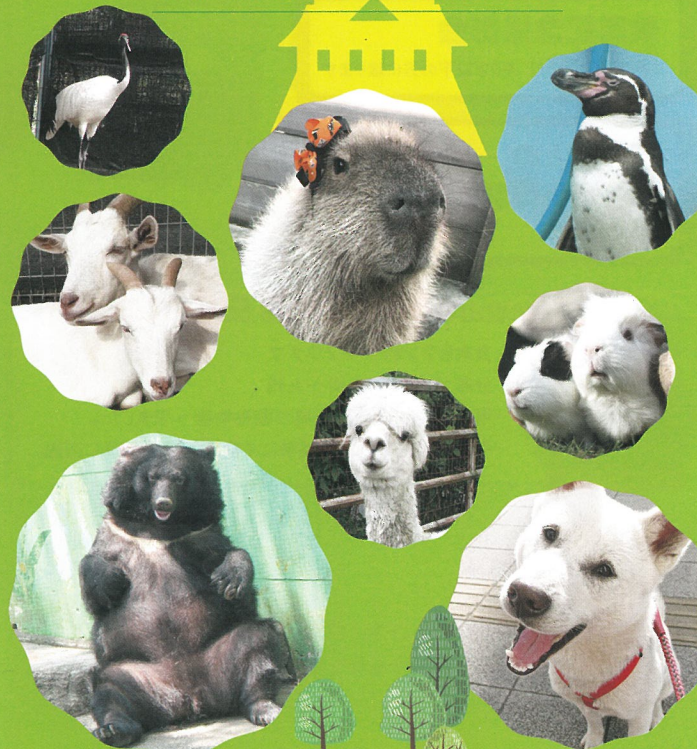
2022年度版

お城と、ZOOっと。



和歌山城公園動物園

WAKAYAMA CASTLE PARK ZOO



- 2 ヨーロッパフラミンゴ  
クサガメ  
ミシシippアカミミガメ  
チリーフラミンゴ
- 3 タンチョウ
- 4 オンドリ  
コブハクチョウ  
アヒル  
バリケン  
マガモ(アイガモ)  
カルガモ
- 5 エミュー



**乗馬記念撮影会**  
(料金:100円) ※9才以下の方に限ります

**紀州犬とのふれあい体験**  
(料金:無料)



すいきんえん  
**水禽園**  
「城らしさ」をイメージするため、中央の石組みには紀州青石等を使って「和歌山城」を、また周囲の池は、お城周りの「堀」を表現しています。カモやアヒル、ハクチョウ等多数の水鳥を中心に飼育しております。

すいきんえん  
**水禽園**

和歌山城公園動物園は  
お城の敷地内にある  
全国でも珍しい動物園です

どうわえん  
**童話園**



- 1 ツキノワグマ
- 6 ウサギ
- 7 アメリカビーバー
- 8 アカハナグマ
- 9 ポリビアリスザル
- 10 オナガドリ
- 11 マーラ・カピバラ
- 12 タイハクオウム
- 13 インドクジャク
- 14 ヒツジ・ヤギ
- 15 ポニー♂
- 16 ポニー♀
- 17 アルパカ
- 18 キンケイ
- 19 ギンケイ
- 20 アオボウシインコ
- 21 ヤギ
- 22 ニホンジカ
- 23 ニワトリ・ウコッケイ
- 24 ミーアキャット
- 25 ファンボルトペンギン

令和4年4月1日現在、ほ乳類 22種 81点、鳥類 26種 80点、  
は虫類 2種 5点、合計 50種 166点の動物を飼育しています。  
(動物の体調等により展示していない場合があります)

「動物ふれあい」や「えさやり体験」は、季節・曜日により変動します。  
詳しくは、[和歌山城公園動物園](#) [検索](#) でご確認ください。※雨天中止

**園内案内**  
開園時間 …… AM 9:00～PM 5:00  
料 金 …… 無料  
休 園 日 …… 火曜日(祝日の場合、直後の平日)  
※繁忙期は開園する場合があります。  
T E L …… 073-424-8635  
住 所 …… 〒640-8146 和歌山県和歌山市一番丁3番地

**アンケートに答えてくださったご来園中のお客様に  
オリジナルノベルティをプレゼント!**

右記のQRコードからご回答いただきスタッフへ  
アンケート終了画面をお見せください。



**えさやり体験**  
(料金:100円)  
[ポニー・アルパカ・ヤギ・ヒツジ・シカ]  
※動物の体調により数量は変更します。  
※なくなり次第終了。



どうわえん  
**童話園**  
おとぎ話やインソップ童話の雰囲気や壁に絵などで表現し、当時から子どもたちに親しまれるような動物を多数収容しました。当時の童話園には、キツネ、タヌキ、ハナシカ、ロバ、ヤギ、クジャク、カンガルー、サル、アシカ等が飼育され、日本のおとぎ話や、西洋の童話のような雰囲気が当時から楽しめました。